

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所ながかみ		公表日		令和 7年 3月 5日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		・こども園に併設している特性上、子どもにとっては開かれた空間となっている。その環境を生かし、子どもの安全を守る為にも職員数を増やして行動を見守ることができるようにしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	・日中活動はコーナー遊びを展開して、自分で選び、落ち着いて遊べる環境を構成している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	・裸足で生活する為、こまめに掃除をして綺麗な環境を心掛けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・評価表の内容を基に改善項目の把握や対策などを話し合う機会を設けている。実践して振り返りを繰り返すことでより良い関係性を築けるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	月1回児発会議を設け、話し合いの議題を事前に用意することで、問題解決につなげる。その際、職員同士が発言しやすい雰囲気づくりに努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3		・法人の内部監査等を実施して、業務改善や効率化につなげていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	・事例検討会など外部研修に参加している ・こども園の職員と一緒に内部研修を受けて保育の質の向上に努めている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		・必要に応じて遊びの内容をつけ加えて、地域の方々に分かりやすい情報を発信できるようにする。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0	・保護者と作成する前に面談を実施し、現状や今後の意向を考慮した上で作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	・現場の職員の意見や情報をもとに計画書を作成するようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	・支援計画同意後、こども園の職員も含めて情報共有をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	・医療機関と連携して定期的に発達検査を受けるよう促すことで強みや課題を理解する。医師からの助言をもとに支援方法や関わり方について再度検討する機会と捉えている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	・保護者の意向を考慮した支援計画になるよう丁寧に聞き取りをする。スモールステップで着実に達成できそうな目標を設定し、家庭でも実践できる具体的な計画を作成するよう心掛けている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	・こども園の職員と一緒にコーナーごとで話し合い、子どもの姿に応じて遊びの内容や展開の仕方などを決めている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	・毎日散歩を取り入れているが季節の移り変わりを感じられるようコースを変更したり、遊具で遊ぶなど変化をもたせている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	1		・子どもの特性によっては個別でじっくり関わる時間をとることも必要ではないか。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	・朝ノートや散歩のボードを活用し、情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	・日誌に子どもの成長や気になるところを記入し、共有することで改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	・6ヶ月間でモニタリングを行い、計画書の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	・関係機関とは定期的に連絡を取り、必要に応じて会議等に管理者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		・今度、医療的ケア児を受け入れる体制を整えていけるよう人員確保や環境づくり、関係機関との連携を強化していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	・学校や放課後デイサービスへの情報伝達の為、事業所に来訪していただいて利用児童の様子やサポートかけはしシートを渡して説明している。また、電話や郵送などの手段で情報共有を行い、つなぎ目のない支援を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	0	・併設こども園や子育て支援に遊びにきた地域の方々との交流する機会はある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	・ファミリーデー参加時、園での接し方や他児との関わりを伝えている。必要に応じて面談を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	・見学・契約時に必ず口頭で確認している。分からないことはいつでも聞いてもらえる関係性をつくり、良好な関係を心掛けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	・モニタリングや面談で意向を確認した上で計画案を作成し、提案させていただいている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0	・必要に応じて計画を変更したり、増やしたりしながら納得した上で同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0	・ココベリ会を再開したり、懇談会を3回開催できた。こども園の保護者会とも連携して、夏祭りや講演会・園庭整備など一緒に参加している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1	・週1回ドキュメンテーションを発行している。バス散歩や行事、日々の遊びについては玄関で掲示をして保護者に向けた情報発信をしている。	・事業所向けの情報提供については検討していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	・個人情報の書物は鍵のかかるロッカーで厳重に管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	・卒園児を招待するココベリ会を開いて、コーナー遊びや保護者同士の交流の場を提供できた。	・ココベリ会以外にも隣接している介護施設との交流を増やしていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	・併設こども園と一緒に毎月実施して、職員の対応や子どもの誘導方法などを確認している。年1回一斉メールを送り、非常事態を想定した引き渡し訓練を行い、保護者にも協力してもらっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	・見学・契約時に必ず口頭で確認している。服薬の量や頻度、種類等の変更があった場合は教えてもらい、お薬手帳をコピーさせてもらうことで共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	・医師の指示書を提出してもらい、定期的に聞き取りをすることで解除に向けて支援している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	・ヒヤリハットや事故があった時には迅速に現場検証するとともに、必要に応じて会議を開く。その際、対応方法を含めた再発防止に対する取り組みを職員間で共有する。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		